

新宿区立新宿養護学校

ひまわり

令和5年7月号



↑カラー版はこちらから

「凡事徹底」

校長 門脇 伸也

暗がりの 天地にひびく 花火哉 (正岡子規)

夏の風物詩とも言える花火大会のお知らせを目にするようになりました。コロナ禍で開催が途絶えていましたが、今年は日本各地で花火大会が7月～8月に掛けて開催され、多いところでは1万発以上の花火が夜空に打ち上げられます。子規の句からも花火を眺めるといふ夕涼みの光景が浮かび上がります。

さて、1学期を振り返ります。適度な感染症予防対策を行いつつ全体保護者会、授業見学を合わせた個別面談、保護者の見学及び参加型の校外学習（小学部）、半日校外学習（小学部）、区の選挙管理委員会中企業（CSR）の方々を招いての交流、区内小・中学校との学校間交流、副籍の直接間交流の実施など、コロナウイルス感染症5類移行後、外に対して学校を徐々に開いてきました。そのような中、教員の指導面においても少しずつ成果と呼べるものが見えています。この4年間は各教科等における資質・能力の育成とICTの活用に取り組んでいます。これは、自立活動を主とする教育課程の算数科授業の一例です。A児童は、日常の中で視覚や触覚などの情報を活用して生活を送っています。今までは絵本の読み合わせや型はめの学習を通して、色と形を見て触れて、形が同じものを選ぶことが出来るようになり、形に対する興味、関心をもつことが出来ています。そこで、担当教員は、丸、三角、四角の名称に関して、タブレット端末を利用して、色と形を視覚と音声で理解できるような提示を行ってきました。学習後、当該教員の指導教官に聞いたところ、「他の学習活動でも、友達や教師の読んでいる絵本やおもちゃ教材を交換する際に、形や色について声を出して表すことで児童が分かりやすくなることに気付き、学んだことを生かしている姿が見られた」とのことでした。

つづいて、教員の研修からも成果と呼べるものが見えています。お蔭様で新1年生の摂食指導は初期食、中期食、普通食、お弁当持参と形態は様々ですが、助言をいただき規定の時間内で食事をする事が出来ています。摂食嚥下について専門的な知識をもった日本歯科医師会に所属する歯科医師を講師に招き摂食の仕方の研修を受けています（6月26日）。児童・生徒の摂食指導は基本的に新1年生全員を実施しています。小学低学年から継続的な嚥下指導を受けることができます。また、講師の先生には摂食場面を参観し、気付いたことをアドバイスいただき、教員の具体的な支援方法の知識も深める事が出来ています。摂食指導は支援方法を間違えると誤嚥等を招く恐れがあり、より専門的で確かな知識と技能が必要となります。そのため、専門家による実際の関わりやアプローチを見学する機会はとても貴重な時間となっています。

そして、新型コロナウイルス感染症の収束を願っていますが、様々な感染症が並行して流行しています。2学期、9月16日には区内の二大祭礼の1つである十二社の祭礼があり、この日は地域との交流を主にして『交流の日』という学校行事があります。今年の『交流の日』は、児童・生徒の御家族にも参加していただきたいと考えていますが、感染症の状況を踏まえつつ、適切な学校の開き方を検討していきます。

最後になりますが、今週に入ってから、「危険な暑さ」により熱中症警戒を呼びかけるニュースが多くなっています。これからが夏本番となります。保護者様、地域や関係機関の皆様におかれましては、水分の摂取と適度な塩分、そして睡眠時間の確保などお身体を大切にしつつお過ごしください。

「西新宿小学校との交流会」

小学部
6月30日、本校の小学部1・2組と西新宿小学校の4年生が学校間交流を行いました。近年は感染症流行の為、オンラインでの交流が続いていましたが、今年度は4年ぶりの対面交流を実現することができました。

班別レクリエーションでは、西新宿小学校の児童が事前に準備してくれた「ばくだんゲーム」や「〇×クイズ」、「すごろく」等を楽しみました。初めはお互いに緊張している様子でしたが、活動を通して西新宿小学校の児童が本校児童の車いすを押したり、話し掛けたりする等、少しずつ打ち解けて楽しそうに関わる姿が見られました。最後には西新宿小学校の児童が運動会で披露した「ソーラン節」を皆で踊り、交流会は大いに盛り上がりました。

今後も児童同士の交流を深めていけるよう、継続的な関わりを大切にしていきます。



「支援機器を用いた朝の会の取り組み」

研究部

低学年こすもす・すみれグループでは、「支援機器の操作ができる」「進んで他者とやりとりをする」などを目標として、自立活動『朝の会』の授業研究を行いました。

朝の会では、歌に合わせて呼名をしたり、その日の予定や給食の確認を行ったりしています。音楽の再生や映像をスライドに映す際に、スイッチ教材やタブレット端末を用いて朝の会を進行しました。スイッチ教材はボタンを押したりレバーを引いたりするものがあり、児童一人ひとりが操作しやすいスイッチを選びました。また、タブレット端末ではスイッチコントロール機能を使い、画面のどこを押しても任意の操作ができるようにしながら支援を行いました。日々活動を繰り返すことで支援機器の操作に慣れ、楽しんで朝の会に参加する姿が見られました。

今後も様々な学習で支援機器を活用し、子どもたちの表現の幅を広げていきたいです。

「低学年こすもす・すみれグループ 半日校外学習」

小学部

6月27日火曜日、3台のスクールバス乗って、新宿区四谷にある消防博物館へ行きました。当日はあいにくの雨でしたが、館内は混雑もなくゆとりをもって見学することができました。

消防車や消防ヘリコプターの展示を見たり、機械のスイッチや機器を触ったりしました。他にも、本物の車両や機械の迫力を感じたり、自分の映像が写って消防士や救急救命士の制服の姿になる展示を楽しんだりしました。

1年生にとっては初めての半日校外学習でしたが、落ち着いて見学をして午前中の半日校外学習に取り組むことができました。



「つくし・ぱら・だりあグループ 半日校外学習」

小学部

7月4日火曜日に、半日校外学習で、「がすてなーに」へ行ってきました。子どもたちは久しぶりに行われる校外学習に対し、期待に胸を膨らませて事前学習に臨んでいました。

当日はとても良い天気で、移動中のバス車内から東京タワーやレインボーブリッジの景色を楽しみました。「がすてなーに」では2グループに分かれ、事前学習で調べた展示や体験コーナーを順番に周りました。子どもたちは目を輝かせて見学し、いつもとは違う特別な空間を楽しんでいました。

今回の半日校外学習では、施設のルールやマナーを守って、落ち着いて行動することができました。限られた時間の中ではありましたが、友達と楽しいことを共有できた久しぶりの半日校外学習は、とても有意義な時間となりました。

「放課後等デイサービス移動事業所等連絡会を開催して」

特別支援教育コーディネーター

6月30日(金)、本校で放課後等デイサービス移動支援事業所との連絡会を開催しました。今年度は4つの事業所より計7名の方に参加していただき、各事業所の活動報告や情報交換、学校見学を行いました。情報交換の場では、今年度における事業所の利用状況や医療的ケアの対応など、新たな取り組みについて話し合いを進めました。学校見学では各教室の他に、主に3組と中学部の模擬選挙をテーマにした合同授業を見てもらいました。教員が行う模擬演説を聞いてどの政党に投票するかという取り組みについて、事業所の方々にも知らせてもらい良い機会となりました。

見学後の意見交換では、授業内容が児童生徒にとって大切な取り組みであるという感想の他に、学校で取り組んでいる個々の学習課題に対して事業所でも取り組んでいきたいという意見や、事業者が学校行事など必要な場面で協力していきたいという心強い御意見をいただきました。

これからも各事業所と御家庭、学校が共に連携し、子どもたちを支援していきたいと思っております。

